

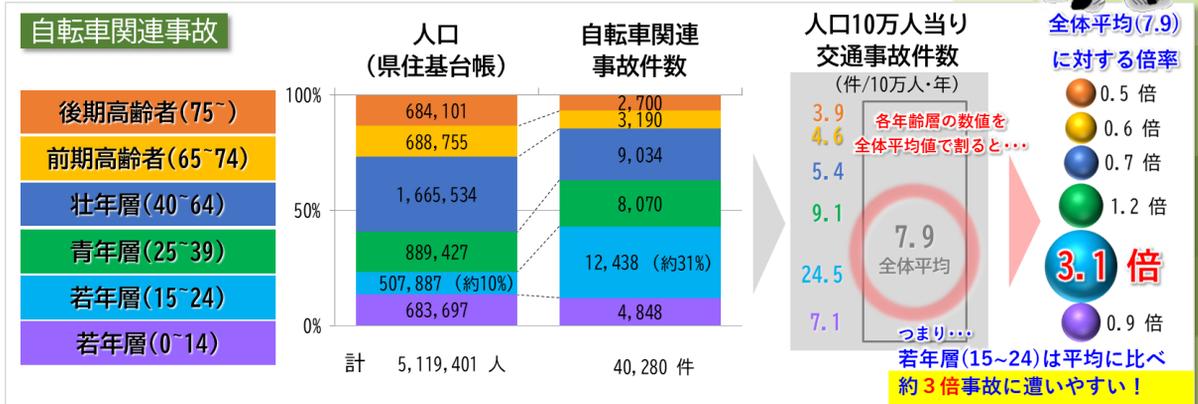
自転車関連事故とは・・・

1当又は2当が自転車の事故をいい、  
1当2当双方が自転車の場合は、1当  
を基準に1件として計上しています。



## 自転車関連事故 各年齢層の傾向は？

- 県内の人口約512万人のうち約10%を占める若年層(15~24歳)が、自転車関連事故件数の約31% (約12,000件) の当事者に該当。
- 各年齢層毎の事故の遭いやすさを比較するため、人口10万人当り交通事故件数に換算すると、**若年層(15~24歳)が最も高く全体平均(7.9)の約3倍**という結果に。



(出典) 事故件数：事故データ(2015~2024年平均値) 人口：福岡県住民基本台帳 市町村、男女、年齢5歳階級別人口(2015~2024年平均値)

- 高齢者は身体・認知機能の変化に伴い、死亡事故に至りやすい傾向が表れる結果に。
- 信号無視や一時不停止、ながらスマホ(携帯電話使用)などの違反・危険行為は若年層に多い。
- 飲酒運転事故は青年層(25~39歳)・壮年層(40~64歳)に多い。



(出典) 事故件数：事故データ(2015~2024年平均値) 人口：福岡県住民基本台帳 市町村、男女、年齢5歳階級別人口(2015~2024年平均値)

### 自転車安全利用5則

1 車道が原則、左側を通行  
歩道は例外、歩行者を優先

2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認

3 薄暮時は早めにライト点灯

4 飲酒運転は絶対ダメ

5 ヘルメットを着用